

だっしゅ!

発行：日高地方本部青年部
2016年10月19日 第6号
作成：山道 あや(平取町職労)

～第1回自治労日高地方本部青年部交流会～

2016年8月20日 新ひだか町にて、第1回自治労日高地方本部青年部交流会を開催し、8単組・総支部42人(うち女性16人)が参加しました。

第1回なので、来年度もきっとあります!

「オキナワ平和の旅」報告

日高町職の佐藤彰太幹事より、5月12日から16日にかけて行われた、第23回被戦地オキナワ青年の旅の参加報告をいただきました。

各単組総支部から集めているピースカンパにより送り出しているの、報告もしっかり行いました!



きっかけ?

せたな夏期交流集会で、初めて「オキナワ」の報告を聴いた。

戦争について、自分は知らないんだなということを感じ、行ってみたいと思い話していたから、自分に話がきたんだなと思った。

上司には、「佐藤君あての電話が来たらどうするんだ」と言われたが、それを言ったら普通の休みすら取れないと思い、スルーして休みを取り、「オキナワ」へ行った。

オキナワの運動から学ぶこと

「小さいけれど確実な一歩を進んでいく」

座り込みだけを、ずっとやっても、米軍基地などはなくなる。だけど、少しずつでも変わっていく部分がある。それは、組合でも同じこと。少しずつでも運動をすることで、変わっていくことがある。それが、僕が学んだことだと思いました。

「自治労青年女性中央大交流集会」報告

2016年7月29日から31日にかけて山梨県山中湖畔にて行われた「自治労青年女性中央大交流集会」の報告を5グループに分かれて行いました。

参加者が各々持ち帰ってきたものを文章だけではなく、本人の口から直接聞く機会が設けられました。これも事後の取り組みです。

中央交の分散会は、職種別分散会で行われ、全部で226分散会あり、会場は宿舎なので、富士山を眺めながらの徒歩移動。

その分散会で話し合われた職場実態などを、次は、夕食後に北海道の仲間と共有したらしいですよ…夕食後にまで…。

そのときに作ったのが、横にある手書きの教宣紙です!どれくらいの時間をかけたのか……



中央交で作成した、手書きの教宣紙!



交流会なので、交流しましょう。

交流会は、公民館横のステージで行いました。
雨が降らなくて良かったです。
他単組と交流して、つながりをつくりましょう！



新ひだか流の焼き方は、
凄まじかったです…!!



ご本人曰く、餌付け

～日高地方本部青年部新人学習交流会～

2016年8月27日から28日にかけて、浦河町のうらかわ優駿ビレッジAERUにて、日高地方本部青年部新人学習交流会を開催し、8単組・総支部53人（うち女性13人）が参加しました！

今回のちょっと違うところは、来賓として参加いただいた、空知・胆振地本、ろうきんのなかまにも参加してもらったことです。地方協や平和の火リレーなどを通して「横のつながり」が出来ているのが、目に見えた集会でした。

参加して下さったみなさん、ありがとうございました！！

ということで、1日目からどうぞ。



「組合の必要性、組合とは？」

釣副部長が組合の必要性について講演を行いました。
新人さんにもわかりやすい講演だったと思います。

- ・ 組合とは、理想と現実のギャップを埋めるためのもの。
- ・ 質の高い住民サービスを提供するためには、まず自分の労働環境を整えないといけない。
- ・ ひとりでは難しくても、みんなで声を出す、組合とはそういった組織である。

単組・総支部に戻って、今回学んだことを参加出来なかった仲間に伝えることは、あなたにしかできません。
是非、教宣紙や報告会で共有しましょう。

コースが遠かったパークゴルフ

講演後にアイスブレイクを行い少しグループで仲良くなった？ところにもっと仲を深めるために、台風の影響により、実施自体危ぶまれたパークゴルフへ。



優勝は、浦河町職務
若林青年部長！！



これで、次の全体交流も
2日目のグループ討論もバッチしですね！



ろうきんの方々にも、ご参加いただきました！



大いに盛り上がった？全体交流



空知2人、胆振1人が参加！

一村一品は、いつもと違って、BBQということもあり、お肉やたこなどその場で焼いて食べれるものが多かったですね！とにかく、雰囲気だけでも伝われ！！

2日目 グループ討論

「理想の職場とは？」について、各グループで討論し模造紙に記入し、発表しあいました。それぞれが、役場に入ってから当たり前だと思っていた職場の状態が、他の町の人たちと話すことによって、実は「オカシインじゃないのか」という気づきを得ることが出来ていればいいと思います。

発表では、さまざまな理想と現実のギャップが出されました。「仕事にやりがいを感じない」「人間関係がうまくいかない」「休みが気軽に取れない」「定時に帰れる環境がほしい」「賃金があがれば、趣味や引越し費用などに充てられるのに…」といった参加者からの声が出されました。

中でもオカシイと思ったのは、「1年目なのに自分しかわからない業務がある」「別室に呼ばれて、30分説教させられ、決裁板は何も言われずに返される」などの実態があったことです。

今回出されたギャップを改善していくためには、「先ずは、声を出してみる勇気や声を出していく環境が大事。今から声を出して、職場の環境を良くしていかなければならない。」「青年部員でいるうちに、こういった学習会や交流会に参加し、オカシイに気づいていこう」という意見や集約がなされ、団結ガンバローで集会を終えました。



労働の対価は金だ！

毎度おなじみ記念写真!!



本当に遅くなってしまって申し訳ないのですが、地本教宣紙「だっしゅ！」第6号を担当しました、平取町職労の山道です。単組の教宣紙も作ってますが、本当難しいです…なので、みなさんに伝えきれずに終わってしまったら申し訳ないです…そのときは、参加してもらったみなさんを頼りにお願いします。←